

天塩川下流流域治水プロジェクト(案)

第6回 天塩川下流流域治水協議会

天塩川下流 流域治水プロジェクト【位置図】

～国産バターの原材料から製造までを一手に担う天塩川下流域の地域産業を浸水被害から守る治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、天塩川水系においても、日本有数の乳製品原材料生産を支える農地の機能確保、被害軽減のための避難等を含む事前防災対策を進める必要があり、国管理区間においては、天塩川流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和56年8月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



天塩川下流 流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～国産バターの原材料から製造までを一手に担う天塩川下流域の地域産業を浸水被害から守る治水対策の推進～

●天塩川下流域では、流域全体を俯瞰し、国、道、町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進し、合わせて、洪水による浸水が長時間続き、広範囲に及ぶために迅速かつ確実な避難対応等が必要となる。

流域の特性を踏まえ、関係機関で連携した流域タイムラインを作成、広域防災連携にむけた体制づくり等を実施。

【短期】円山地区(雄信内市街部等)での浸水被害を軽減するため、堤防整備、天塩川の河道掘削を実施。

【中期】国根布地区、問寒別地区(問寒別市街部等)での浸水被害を軽減するため、堤防整備、天塩川の河道掘削を推進。

【中長期】国根布地区、問寒別地区等での浸水被害を軽減するため、堤防整備、天塩川の河道掘削を実施し、流域全体の安全度向上を図る。



天塩川下流 流域治水プロジェクト【位置図】

～国産バターの原材料から製造までを一手に担う天塩川下流域の地域産業を浸水被害から守る治水対策の推進～

○天塩川下流汽水域は、日本最北に位置する利尻・礼文・サロベツ国立公園やラムサール登録湿地に登録されたサロベツ湿原と隣接また一部が国立公園の保護区域となっており、優れた自然等を評価され、北海道遺産としても登録されている河川である。

○天塩川下流域において、今後約9年間で昭和40年代の好適な汽水環境を再生目標にすることにより、天塩川下流汽水域の最上位種であるオジロワシ、オオワシ等の高次捕食者が飛来・越冬・採餌・繁殖する環境の再生を図り、自然豊かな環境の保全、形成を図るなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

●グリーンインフラの取り組み

『好適な汽水環境を有する天塩川下流の多様な生物生息環境の再生』

【位置図】

天塩川下流汽水域の浅場環境再生
(自然再生)天塩川河川公園の管理用通路
(天塩かわまちづくり)

■グリーンインフラメニュー

●治水対策における多自然川づくり

- ・汽水環境や多様な河岸の再生
- ・魚類や鳥類の生息・生育環境の保全

●魅力ある水辺空間・賑わいの創出

- ・かわまちづくり
- ・地域住民や関係機関等と連携・協働した河川管理

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・小学校などにおける河川環境学習

凡例
治水メニュー
市街地
国道
高規格幹線道路
JR線
大臣管理区間

【全域に係る取組】

- ・魚類等の移動の連続性をモニタリングしつつ、サクラマスが継続的に再生産できる河川環境の改善を図る。
- ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援。
- ・魅力的な水辺空間のPRや水辺利活用を促進し、地域振興を図る。(かわたびほっかいどう)

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

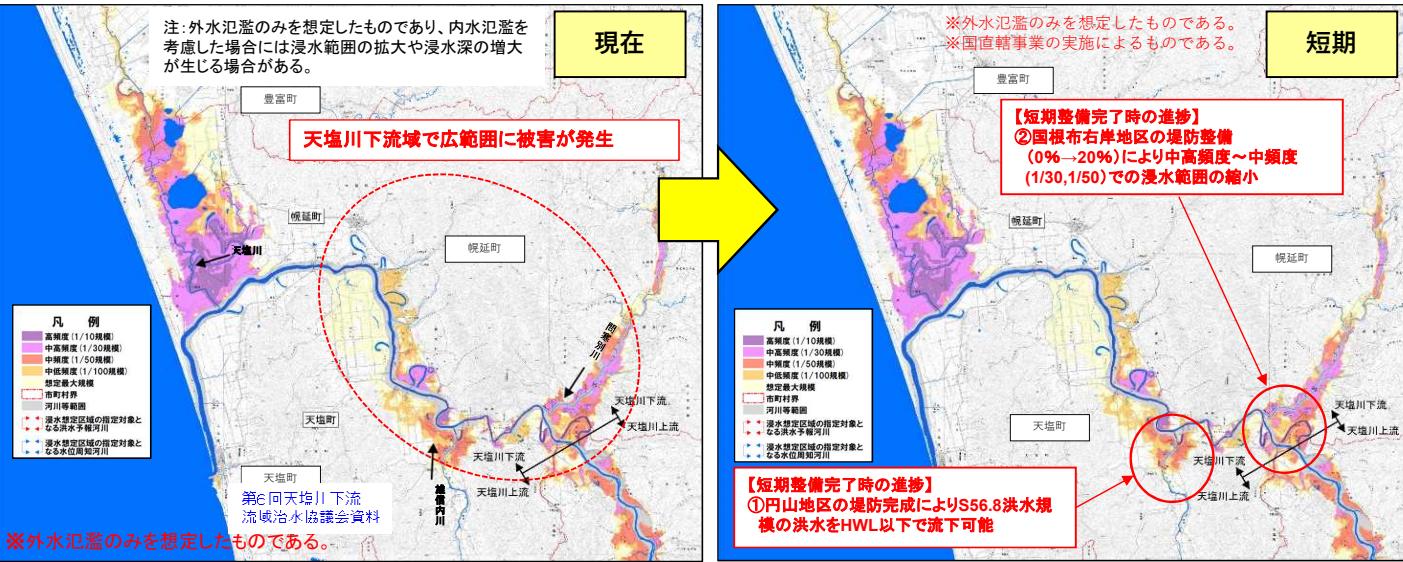
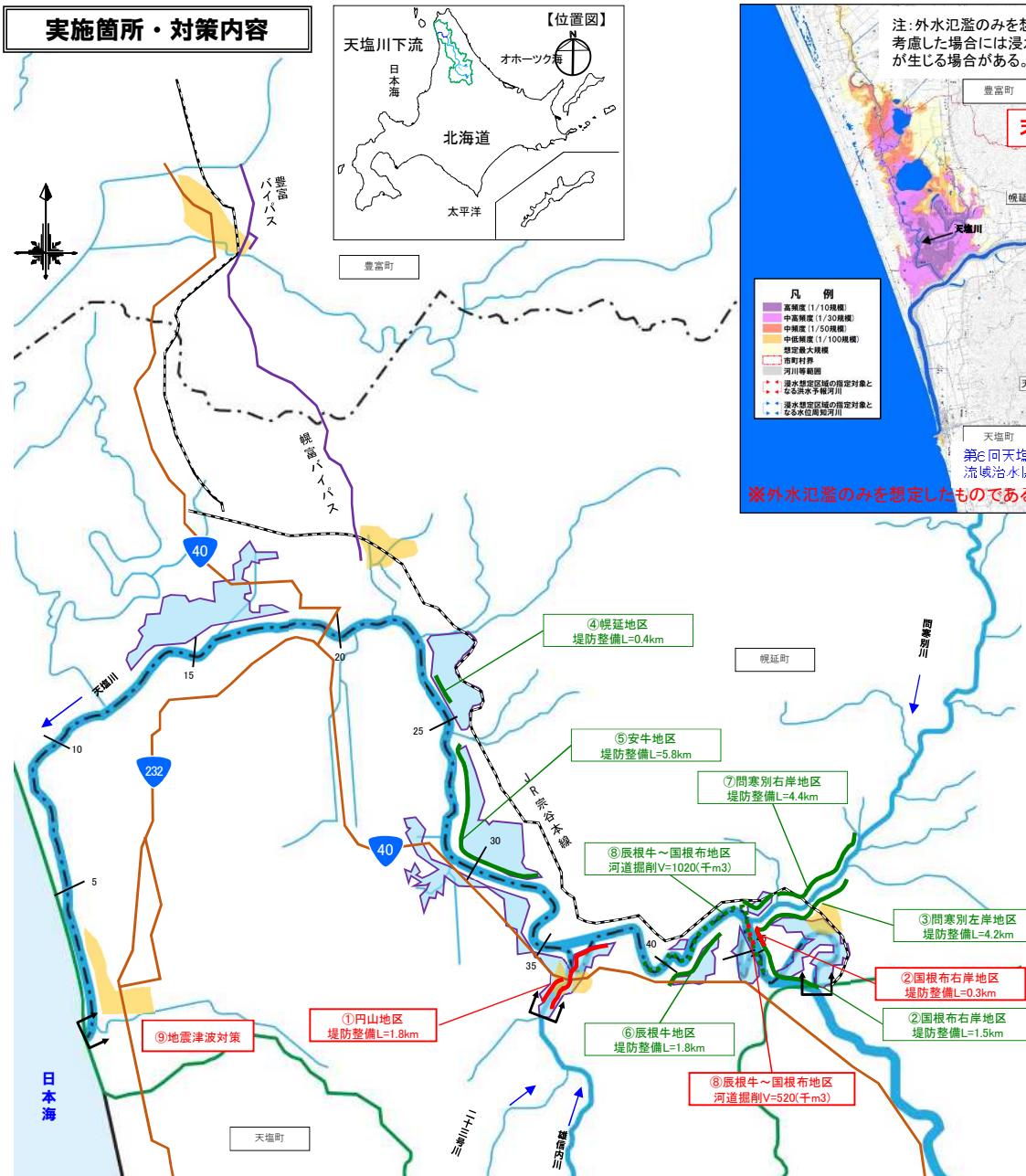
天塩川下流水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～国産バターの原材料から製造までを一手に担う天塩川下流域の地域産業を浸水被害から守る治水対策の推進～

○円山地区の堤防整備のR6完了にともない、S56.8の洪水規模の洪水でもHWL以下で流下させることが可能。

短期整備（5か年加速化対策）効果：河川整備率 約85%→約86%

実施箇所・対策内容



河川整備率 約85%→約86%

区分	対策内容	区間	工程		
			短期(R3~R7年度) 1/30~1/35	中期(R8~R10年度) 安全度精査中	長期(R11~R18年度) 安全度精査中
氾濫をでき るだけ防 ぐ・減らす ための対策	①地区 (円山)		100%		
	堤防整備 53%→100%			20%	100%
	③地区 (問寒別左岸)				100%
	④～⑦地区 (幌延、安牛、辰根牛、問寒別右岸)				100%
	河道掘削 2%→100%	⑧地区 (辰根牛～国根布)	30%	60%	100%
河道掘削 2%→100%	⑨ 地震津波対策	⑨	70%	100%	

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

天塩川下流水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～国産バターの原材料から製造までを一手に担う天塩川下流域の地域産業を浸水被害から守る治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：86%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



3市町村

（令和3年度末時点）

流出抑制対策の実施



0施設

（令和2年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 20箇所

（令和3年度実施分）

砂防関連施設の
実施整備箇所 0施設

（令和3年度実施分）

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村

（令和3年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 10河川

（令和3年12月末時点）

内水浸水想定区域 0団体

（令和3年11月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保 洪水
計画 土砂
(令和3年9月末時点)

個別避難計画 2市町村
(令和4年1月1日時点)

氾濫ができるだけ防ぐ・減らすための対策

○農業用排水及び農用地整備

排水路等整備による農地湛水被害解消を目的に実施。



○森林整備等

間伐や植林による森林整備環境を保全し、自然災害からの被害の軽減を図る。

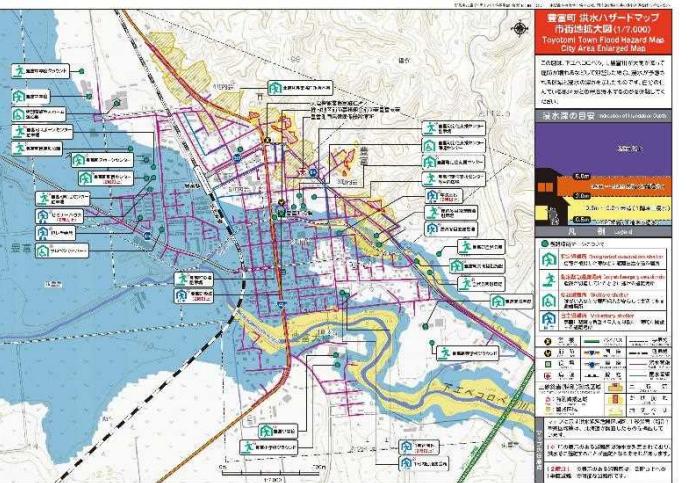


被害対象を減少させるための対策

○ハザード情報を活用した土地利用等の検討

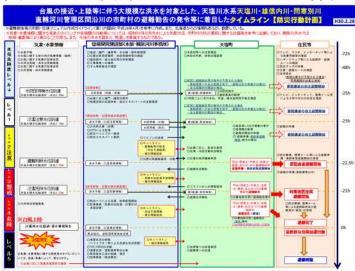
新たな公共施設の整備や施設更新の際に、浸水リスクの少ない箇所への整備を検討

また、今後は水害リスクマップ作成に伴う説明会、意見交換会等を実施し、地元住民との浸水リスク情報の共有を行う。



被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

○関係機関による流域タイムラインの作成



各機関で連携して、
タイムラインの充
実、発展させ、流
域タイムラインと
する。

○防災教育等の実施



小学校における
防災教育

○要配慮者利用施設の避難確保の計画作成促進等



防災部局から高
齢者福祉部局に
に対する情報提供